



# これからの多職種連携・チーム医療 における薬剤師の役割

詳細はコチラ  
当センターHP



世界最高齢社会の日本では、かかりつけ薬局、在宅医療から院内薬剤部まで、全国のあらゆる臨床現場における多職種連携・チーム医療において、これまで以上に**薬剤師の役割が重要**になっています。日々の日常診療における多職種連携の重要症例を通じて、専門的な視点から理想的なチーム医療を推進する薬剤師の役割を確認して、一歩踏み出してみませんか？  
グループワークで全国の参加者の皆さんと一緒に楽しく学びましょう！

認定単位



## 3 単位発行

※本認定単位は日本薬剤師研修センターなどGPC認証研修制度間で原則互換性があります

日時

※受講料入金締め切り 1月24日(火)

1月29日(日)  
12:30~17:30

※12:15までに接続をお願い致します

※薬ゼミラーニングトレインよりお申込みをお願い致します

会場

ご自宅  
(ZoomによるWeb配信)

必要なもの

- PCもしくはタブレット端末
- ※カメラ、マイク機能がない方は、ご参加いただけません
- ※講座の性質上、スマートフォンでのご参加はお控え下さい
- インターネット接続環境（ご自身のネット環境により、音声や画像の乱れが生じる可能性があります）
- Zoomの利用は無料ですが、インターネット使用料金は自己負担でお願い致します
- タブレット端末でご参加の方は、事前にZoomのアプリをダウンロードしてください

受講料

5,000円

※登録で  
Ph-port  
4,000円



Ph-portのご登録、割引クーポンはコチラ



ラーニングトレインのログインはコチラ

※薬剤師以外の方の参加も可能です。是非ご参加ください。

受講料が異なりますので、下記お問い合わせ先までご連絡ください

※Ph-portは、薬学ゼミナールが運営する薬剤師のコミュニティーサイトです

研修単位の発行について

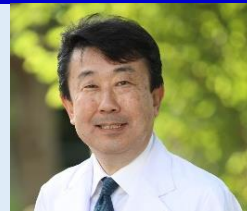
受講後3日以内に薬ゼミラーニングトレイン内の事後アンケートにお答えください。後日単位発行システム(単位発行くん)より研修単位を発行していただけます  
(発行方法につきましては受講当日にご案内いたします)

講座概要

第1部

「薬学教育のモデルコアカリキュラムからみた地域医療連携における薬剤師の理想像」  
～主要症候の確認ポイント：副作用発見や早期受診を勧めるためのキーワード30～

秋田大学 医学教育学講座 教授/日本医学教育学会 理事



長谷川 仁志 先生：医師

第2部

「地域包括ケアにおける実例からGWで学ぶ」  
～薬剤師が多職種チーム医療に関わるポイント～

1



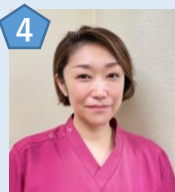
2



3



4



5



1

医療法人社団隆仁会 秋田往診クリニック 理事長 市原 利晃 先生：医師

2

JA秋田厚生連 能代厚生医療センター 地域医療連携室 伊藤 美穂子 先生：看護師

3

株式会社ピー・アンド・エス 在宅医療連携室 室長 齋藤 淳 先生：薬剤師

4

社会福祉法人 桜丘会 訪問看護ステーション幸 管理者 木村 真紀子 先生：看護師

5

SOMPOケア秋田仁井田居宅介護支援事業所 管理者 伊藤 百子 先生：ケアマネジャー

ZoomによるWeb配信受講までの流れ

